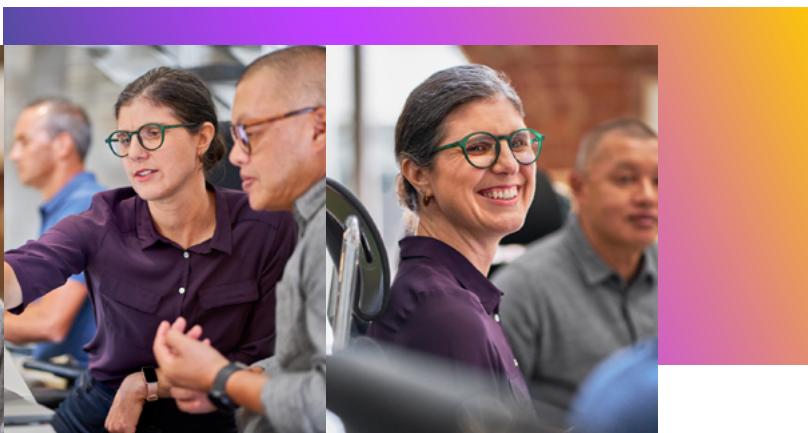




Hewlett Packard
Enterprise

AI導入時間を短縮する秘訣

大規模環境におけるAI実装とは気が遠くなるような仕事です。NVIDIA AI Computing by HPEを使用すると、煩雑さを軽減してエンタープライズにおける導入をスピードアップできます。



人工知能（AI）は、ほぼすべての企業のテクノロジーロードマップで重要な到達点となりました。現時点で72%の組織が何らかの形で人工知能（AI）を導入しており、なかでもGenAIがもっとも多く使用されています¹。ただし、各組織がAI導入のどの段階にいるかは大きく異なります。

ほとんどの企業はGenAIの理解を深める段階にあって、社員に一般向けのチャットボットの使用を奨励するレベルにとどまっています。限られたデータセットを使用して概念実証を実行し、このテクノロジーの最適なユースケースを特定しているのは一部の企業にすぎません。ほとんどのエンタープライズGenAIプロジェクトのうち、実験段階から本番環境に移行したのは3分の1に達していません²。

HPEのシニア上級テクノロジストであるPeter Moserは、初期の実験の多くはパブリッククラウドで行われていると述べています。それはなぜか。始めやすく、シンプルなモデルを開発しやすいうえに、サンドボックス環境でテストも簡単だからです。しかし、その状況はすぐに変化する可能性があります。

「スケーリングして大量のデータを扱い始めると、AIはすぐに複雑になり、コストも上がります」とMoserは言います。「多くのお客様は、自社のデータを自社でコントロールできないパブリッククラウドではなく、オンプレミスで実現したいのです」その証拠に、そのような方向転換はすでに十分に文書で公表されています。現時点で60%以上の企業が、オンプレミスのプライベートクラウドでAIアプリをトレーニングおよび展開する予定であると回答しました³。

¹ 『The state of AI in early 2024: GenAI adoption spikes and starts to generate value,』 McKinsey & Co., May 30, 2024

² 『Now decides next: Moving from potential to performance,』 Deloitte, August 2023

³ 『Essential Elements for Private Cloud Strategies,』 IDC, August 2024

プライベートクラウドが推される要因はデータの主権とセキュリティにあります。自社の重要データがパブリッククラウドでリスクにさらされる不安や、次々と登場するデータガバナンス規制に抵触する懸念がどの組織にもあるからです。プライベートクラウドでは、アプリケーションパフォーマンス、レイテンシ、スケーラビリティ、コスト管理を強化することもできるとMoserは付け加えます。

ただし、パブリッククラウドでの限定的な実験からオンプレミスの本番環境規模のAIアプリケーションに移行するのはとてつもない躍進です。10件中9件のパイロットプロジェクトは実用化に結びつきません⁴。「大多数の企業にはAIを大規模環境で活用するために必要なテクノロジーインフラストラクチャと専門知識がありません」とMoserは言います。言い換えると、そうした企業は支援を求めているのです。

そこで、プライベートAIクラウドの導入を決めたとします。次に何をすべきか。

Moserによれば、現在、GenAIアプリケーションを支援なしで導入するために必要な社内ツールと専門知識を備えているのは世界最先端の組織に限られ、そのような組織の多くが何年も機械学習に取り組んできました。それ以外の企業は先を見通せない学習曲線に加え、テクノロジーと時間への多大な投資という難問に直面しています。

「AIなどのハイパフォーマンスコンピューティングワークロードでは並列ファイルシステムが使用されます」とMoserは説明します。「並列ファイルシステムにはGPUと高度なツールが必要ですが、保有するIT組織はほとんどありません。IT組織にとっては未知の世界なのです」

こうしたAIモデルをトレーニングするため、各組織では複数の形式で複数の場所に格納された膨大な非構造化データを統合する方法を見つける必要が生じます。デー

タスペシャリストを採用して、ITチームのAI活用スキルを向上させ、リスクを最小限に抑えるために適切なデータガバナンスの保護措置を導入して、すべての新しいシステムを既存のテクノロジーインフラストラクチャに統合する必要も生じるでしょう。

その一方で、時計の時刻はどんどん進みます。GenAIの速い導入とデプロイを求める市場圧力は高まるばかりです。

「すべてを自社で実現しようとする、途方もない時間と大きなリスクに直面します」とMoserは言います。「ほとんどの企業は、GenAIの導入とデプロイをタイムリーに実行できるほどAIについて十分な知識が持ち合わせていません」

HPE Private Cloud AI: データを追加してかき混ぜる

以上の要因すべてが、HPEがNVIDIAと提携して、エンタープライズ向けのユニークなターンキーソリューションである HPE Private Cloud AIを開発するきっかけとなりました⁵。これは単なるインフラストラクチャではありません。スケーラブルで事前構成されたフルスタックのプライベートクラウドオプションはNVIDIA AI Computing by HPEポートフォリオの一翼を担います。これはコンピューティングとストレージ、設計と計画、統合と最適化、教育とトレーニング、コンサルティングなどを網羅した完全統合AIソリューションです。

このプロセスの開始点となるのは、AIが貴社にもたらすあらゆる種類のに関する深い話し合い、貴社のAI対応状況の評価、ベストプラクティスに関する議論、ニーズに合わせたビジネスユースケースの開発です。Moserによれば、AI導入を始めたいが、どこから始めればよいのか、何を聞けばいいのかさえ分からない企業向けにHPEではワークショップを提供しています。



⁴ "Reasons Why Generative AI Pilots Fail To Move Into Production," Forbes, Jan 8, 2024

⁵ "Hewlett Packard Enterprise introduces one-click-deploy AI applications in HPE Private Cloud AI," HPE, Sep 5, 2024

「多くの企業が陥る大きな間違いに、AIで実現できることの全貌がわからない点が挙げられます」とMoserは言います。「可能性の最大化をスタートから自分で制限してしまっています。当社のワークショップはビジネスにもっとも価値をもたらす優先行動にフォーカスします。ワークショップが議論の全体像を一変させます」

次のステップは技術的な設計と計画です。すべての企業がGenAIプロジェクトに対して同じニーズや同じレベルの野心を持っているわけではありません。そのため、HPE Private Cloud AIは、各ユースケースにおけるコンピューティングとストレージのニーズに応じて、またデプロイの目的がトレーニング、ファインチューニング、推論のいずれかに応じて4種類の事前構成済みサーバー製品をご用意しました。

「こうしたツールの開発企業が設計とアSEMBルを済ませ、これらすべてのツールの連携動作が検証済みの製品が使えます」とMoserは言います。「製品到着の翌日にはHPEがインストールします。48時間以内に稼働できます」

HPEが構成する各HPE ProLiantサーバーは一般的なビジネスユースケースはもちろん、ダウンロード可能な70の大規模言語モデル(LLM)で動作することが保証されています。HPE Ezmeral Data Fabricを使用すると、各企業では分散型データストアを統合できるため、LLMがペタバイト単位の非構造化トレーニングデータを簡単に取り込めます。各企業ではビジネスニーズに適したLLMを選択してAI対応のデータを提供するだけで、インサイトを取得できます。



AIライフサイクル全体をサポート

システムが本番環境に入ると、各企業ではシステムの自社管理も選べますが、HPEとNVIDIAのターンキーソリューションを既存のセキュリティおよびデータガバナンスフレームワークに統合する方法についてHPEとそのパートナー各社に助言を求めることもできます。実装から最適化に至るAIライフサイクル全体にわたって専門知識を利用できます。


各企業が倫理性と透明性を持たせてデータを使用する方法、プライバシー侵害や著作権侵害を回避する方法、増加するAI規制に準拠する方法にまつわる厄介な諸問題についても、HPEが支援していきます。

「AIを正しく捉えることはきわめて複雑です」とMoserは付け加えます。「必要な知識や情報がわからないのです。理由は経験がないことに尽きます。思ったよりもはるかに複雑なことが、すべて自社でやろうとして初めてわかるのです」

詳細はこちら

[HPE.com/ai](https://www.hpe.com/ai)

HPE.comにアクセス 

 [今すぐチャット](#)